

150年間の思いを一つに 元街っ子
~つなげよう! まちへ 世界へ 未来へ~

令和6年2月29日



横浜市立元街小学校



令和5年度 学校だより 3月号

Tel 681-7810 Fax 662-5842

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motomachi/>

創立150周年記念年度のフィナーレ

校長 工藤雅彦

先日の暖かさに、どこからともなくたくさんのヒキガエルたちがカエル池に集まってきました。見つけた子どもたちは朝から大騒ぎをしていました。まさに啓蟄の季節です。いよいよ年度末を迎え、令和5年度もあと1か月となりました。

本年度は創立150周年記念の節目の年度ということで、記念式典・祝賀会・150周年をお祝いする集会をはじめ、多くの記念事業や特別な取組が行われてきました。子どもたちはそれらを通し、様々なことを学び成長できました。そこで、学校だよりでも創立150周年や元街小の歴史に関わるお話をご紹介しますが、ついに本年度の最終号となりました。

2月19日、2年生が中華街にある山下町公園で生活科等の学習の一環として取り組んできた「獅子舞・龍舞・中華太鼓等」の演技を地域や保護者の皆様に発表しました。辰年に龍が舞い、水・風・雷の神様とあって発表前後には雨が降り、何か神聖な趣も感じました。そして、子どもたちは本当によく練習を重ね、息の合った演技を披露することができ、どの子どもも自信と誇りに溢れ大変満足した様子でした。発表は学級ごとに行いました。

どれも素敵でした。獅子舞の演技では、見ている他の学級の子どもたちの頭をかじりに行き、楽しみ合っているのも微笑ましかったです。さらに、この度は中華街発展会協同組合の理事長の高橋様・理事の余様より、創立150周年記念のお祝いに新しい獅子10体をいただきました。代々受け継がれてきた手作りの3匹の龍とともに一段と華やかになりました。今回は私も「始まりのドラ」を叩かせていただきました。貴重な経験でした。春節をお祝いするとともに、本校の創立150周年のフィナーレを飾るようでした。



本校は中国・台湾につながる児童が多く在籍し、中華街のある学区の特性を生かし、2年生を中心に1995年から28年間、中華街のまち探検や獅子舞・龍舞についての学習に取り組んできました。特に中華圏の旧正月の「春節」に合わせた、中国伝統文化である獅子舞・龍舞については、その当時から横濱中華学院の謝先生がボランティアとして、年間10回程度本校を訪れ演技指導と太鼓指導をしていただきました。同時に、その演技は横濱中華街発展会協同組合の勧める子ども春節のイベントとして、地域と交流する恒例行事として定着してきました。また、平成11年に当時の4年生が中華街の美化を勧める歌として作った「I Love Chinatown」の歌は、本活動において2年生によって現在も歌い継がれ、今回も素敵な歌声で発表してくれました。

謝先生につきましては、ただ演技指導するだけでなく、「礼儀・感謝・協力・粘り強さ」等、子どもたちの健全育成も視野に、いつも熱い指導をしていただき、そのお人柄で子どもたちの心をつかみ、中国伝統文化を介して、国際的・人権的な教育にも寄与してくださっています。本校の子どもたちは皆、20年以上にわたり謝先生のご指導を受けていることになり、昨年度は横浜市教育委員会表彰も受けました。あらためて感謝申し上げるとともに敬意を表します。



最後になりますが、創立150周年記念の年度で、いつも以上に本校の教育活動にご支援やご協力をいただき、子どもたちや我々職員を支え、助けていただきました。地域や保護者の方々、元街しょうがっこう にかか すべて みなさま ところ かんしゃもう あ けいひひ
ほんねんど 本年度もありがとうございました。